

中医協	診	-	6
15	.	11	.5

医療機関のコスト等に関する調査項目概要（修正案）

診調組	コ	-	1
16	.	1	.21

（コスト分析の部門に関する検討）

- 入院・外来別
- 病棟別・診療科別
- 医療機関の機能別
- D P C別・慢性期の評価指標別・看護の必要度別 等

（コストの調査の基本的設計に関する検討）

- 直課コストと配賦コストの設定
（直課すべきコストの選定と直課部門の設定）
- 配賦コストの配賦基準の設定
（面積、職員数等）
- 部門別原価算出の基準の設定
（給与費の算出基準等）

（その他医療の提供に係るコストに関する検討）

- 訪問看護ステーションにおけるコストの状況 等

訪問看護ステーションにおける衛生材料等の供給に関する調査について

聖路加看護大学 井部俊子

1. 訪問看護ステーションにおける衛生材料等の供給に関する問題について

- 在宅療養指導管理料：必要かつ十分な量の衛生材料又は保険医療材料の支給が算定要件。
- 医療機器・衛生材料等の供給が十分でなく、患者・家族の負担や訪問看護ステーションによる無償又は有償により支給がなされている場合がある。
- このことは、平成15年3月に出席した「新たな看護のあり方に関する検討会」報告書においても指摘されている。
- 衛生材料等の支給については、厚生労働省より平成15年3月31日に通知（保医発第0331014号）されたところ。

2. 訪問看護ステーションにおける衛生材料等の供給に関する先行調査の概要 (資料1~3)

3. 調査項目、内容に関する今後の検討について

- 在宅における医療処置等の実施状況（患者の状態、実施者、使用した衛生材料等の種類や量など）
- 衛生材料等の支給状況
- 衛生材料等の費用負担の状況 など

資料 1

表 1 供給者別にみた、利用者が在宅療養で使用した「衛生材料等」の使用件数
(訪問看護時に携行して使用したものも含む)

(平成 11 年 11 月の実績)

	指示書交付医療機関が支給 件数 (%)	利用者・家族が 購入	ステーション が無償で支給	ステーション が実費で支給	その他
ガーゼ	100 (23.8)	151 (36.0)	66 (15.7)	98 (23.3)	5 (1.2)
脱脂綿	21 (14.3)	67 (45.6)	48 (32.7)	10 (6.8)	1 (0.7)
綿球	61 (30.3)	43 (21.4)	64 (31.8)	33 (16.4)	0 (0.0)
綿棒	17 (9.9)	95 (55.6)	25 (14.6)	33 (19.3)	1 (0.6)
絆創膏	53 (15.6)	187 (55.2)	40 (11.8)	59 (17.4)	0 (0.0)
使い捨て手袋	18 (4.5)	162 (40.3)	159 (39.6)	58 (14.4)	5 (1.2)
包帯	2 (18.2)	4 (36.4)	3 (27.3)	2 (18.2)	0 (0.0)
消毒薬	143 (45.0)	66 (20.8)	82 (25.8)	24 (7.5)	3 (2.1)
精製水	31 (47.7)	23 (35.4)	5 (7.7)	5 (7.7)	1 (1.5)
生理食塩水	99 (68.8)	9 (6.3)	9 (6.3)	24 (16.7)	3 (2.1)
オリーブ油	7 (25.9)	10 (37.0)	9 (33.3)	0 (0.0)	1 (3.7)
ワゼリン	5 (25.0)	2 (10.0)	9 (45.0)	4 (20.0)	0 (0.0)
その他	40 (27.2)	44 (29.9)	31 (21.1)	26 (17.7)	6 (4.1)

出典)平成 13 年度に全国訪問看護事業協会が実施した「訪問看護に係る看護消耗品、看護用器具等に関する現状調査」報告書より(一部改変)。全国の訪問看護ステーション 3,511 施設より地域別・開設主体別に 300 施設を階層抽出し、回答の得られた 129 事業所(43.0%)について集計。開設主体の内訳は、地方公共団体 19 事業所、医療法人 160 事業所、社会福祉法人 32 事業所、公的・社会保険関係法人 10 事業所、医師会 28 事業所、看護協会 11 事業所、認定法人 40 事業所。

在宅療養指導管理料の区分別にみた医療機器・衛生材料等の費用負担の現状

出典) 平成 9 年度厚生省老人保健事業推進費等補助金「在宅療養に必要な衛生材料・機材等の取り扱いに関する研究」(主任研究者: 内田恵美子) 報告書より抜粋。全国の訪問看護ステーションおよび訪問看護実施病院 1,000 機関を無作為抽出し、回答の得られた 303 機関(回収率 30.3%)、1,925 名の訪問看護利用者を対象。以下は、平成 9 年 10 月の 1 ヶ月間に医療処置を実施した利用者に対して使用した医療機器、医療用具、衛生材料、薬品の調達状況と費用負担。

注) 医器あるいは器: 医療機器、医用あるいは用: 医療用具、衛材あるいは材: 衛生材料

表 2 在宅酸素法

調達件数 医療機器材料		合計 (件)	費用負担者							
			主治医処方 (件) (%)		ステーション負担 (件) (%)		利用者負担 (件) (%)		その他 (件) (%)	
医 療 機 器	設置型酸素供給装置	133	78	58.6	3	2.3	26	19.5	26	19.5
	携帯型酸素供給装置	72	37	51.4	4	5.6	14	19.4	17	23.6
	経皮的動脈血酸素飽和度測定器	111	21	18.9	77	69.4	4	3.6	9	8.1
	流量計	34	24	70.6	0	0.0	5	14.7	5	14.7
	加湿器	23	14	60.9	1	4.3	6	26.1	2	8.7
材	鼻カニューラ	79	31	39.2	8	10.1	26	32.9	14	17.7

表 3 在宅中心静脈栄養法

調達件数 医療機器材料		合計 (件)	費用負担者							
			主治医処方 (件) (%)		ステーション負担 (件) (%)		利用者負担 (件) (%)		その他 (件) (%)	
器	注入ポンプ	7	2	28.6	1	14.3	3	42.9	1	14.3
用	栄養チューブ	24	15	62.5	4	16.7	5	20.8	0	0.0
衛 材	ドレッシング用	83	32	38.6	16	19.3	32	38.6	3	3.6
	輸液セット	48	32	66.7	8	16.7	7	14.6	1	2.1
薬 品	高カロリー輸液関連製剤	42	36	85.7	1	2.4	3	7.1	2	4.8

表 4 在宅成分栄養経管栄養法

調達件数 医療機器材料		合計 (件)	費用負担者							
			主治医処方 (件) (%)		ステーション負担 (件) (%)		利用者負担 (件) (%)		その他 (件) (%)	
器	注入ポンプ	15	11	73.3	0	0.0	4	26.7	0	0.0
医 用	イルリガートル	203	101	49.8	17	8.4	71	35.0	14	6.9
	ろう孔用留置カテーテル	69	53	76.8	5	7.2	9	13.0	2	2.9
	経管栄養チューブ	238	162	68.1	18	7.6	44	18.5	14	5.9
材	栄養管セット	211	121	57.3	20	9.5	57	27.0	13	6.2
薬 品	成分栄養高カロリー輸液	121	103	85.1	2	1.7	12	9.9	4	3.3

表5 在宅人工呼吸

調達件数 医療機器材料		合計 (件)	費用負担者							
			主治医処方 (件) (%)		ステーション負担 (件) (%)		利用者負担 (件) (%)		その他 (件) (%)	
医療機器	陽圧式人工呼吸器	40	22	55.0	1	2.5	7	17.5	10	25.0
	陰圧式人工呼吸器	3	0	0.0	0	0.0	3	100.0	0	0.0
	回路一式	42	21	50.0	5	11.9	8	19.0	8	19.0
	加湿器	28	8	28.6	2	7.1	7	25.0	11	39.3
	アンビューバック	28	10	35.7	3	10.7	7	25.0	8	28.6
	吸引器	48	14	29.2	4	8.3	17	35.4	13	27.1
	ネプライザー	23	8	34.8	2	8.7	6	26.1	7	30.4
	外部バッテリー	17	9	52.9	0	0.0	3	17.6	5	29.4
コミュニケーション用具	10	3	30.0	0	0.0	2	20.0	5	50.0	

表6 在宅寝たきり患者処置

調達件数 医療機器材料		合計 (件)	費用負担者							
			主治医処方 (件) (%)		ステーション負担 (件) (%)		利用者負担 (件) (%)		その他 (件) (%)	
器	吸引器	282	54	19.1	27	9.6	150	53.2	51	18.1
医用	膀胱洗浄用専用容器	131	43	32.8	56	42.7	25	19.1	7	5.3
	膀胱洗浄用排液容器	97	22	22.7	33	34.0	19	19.6	23	23.7
	留置カテーテル	323	213	65.9	38	11.8	53	16.4	19	5.0
衛生材料	カフ用注射器	77	43	55.8	13	16.9	9	11.7	12	15.6
	気管カニューレ	118	95	80.5	5	4.2	11	9.3	7	5.9
	膀胱洗浄用注射器	243	92	37.9	82	33.7	57	23.5	12	4.9
	滅菌ガーゼ	698	225	32.2	109	15.6	346	49.6	18	2.6
	ガーゼ	174	20	11.5	41	23.6	109	62.6	4	2.3
	パウチ	32	6	18.8	5	15.6	20	62.5	1	3.1
	滅菌マスク	3	1	33.3	0	0.0	2	66.7	0	0.0
	マスク	12	1	8.3	5	41.7	5	41.7	1	8.3
	滅菌脱脂綿	38	9	23.7	9	23.7	17	44.7	3	7.9
	脱脂綿	126	20	15.9	53	42.1	50	39.7	3	2.4
	滅菌綿棒	342	85	24.9	56	16.4	168	54.4	15	4.4
	綿棒	83	4	4.8	12	14.5	65	78.3	2	2.4
	滅菌綿球	268	79	29.5	86	32.1	98	36.6	5	1.9
	綿球	86	19	22.1	25	29.1	41	47.7	1	1.2
絆創膏	602	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
薬品	皮膚科軟膏処置剤	443	382	86.2	19	4.3	32	7.2	10	2.3
	創傷処置剤	406	346	85.2	28	6.9	29	7.1	3	0.7
	消毒薬	697	443	63.6	115	16.5	117	16.8	22	3.2

調達機関別にみた利用者一人あたりの平均調達時間について

表 9 調達機関型別にみた利用者一人あたりの平均調達時間 (分)

注：括弧内は最小-最大

調達業務内容	①ステーション (N=5)	②薬局 (N=21)	③販売業者 (N=1)	総数
	発注) ス 5	発注) 病 9・ス 12	発注) 病 3・ス 3	
受注伝票に基づく物品 の準備・確認	7.8 (2.4-13.6)	71.3 (1.8-500.0)	4.5	56.9
伝票整理・保管	3.5 (0.6-10.0)	18.3 (1.0-130.0)	1.0	15.0
使用上の説明	3.3 (0.6-7.0)	10.6 (0.0-50.0)	2.0	8.9
配達	20.6 (0.0-90.0)	22.2 (0.0-90.0)	13.0	20.9
使用中の確認と指導	6.6 (0.0-90.0)	8.2 (0.0-90.0)	0.5	6.6
2ヶ月間の合計	32.6	130.6	21.0	108.0

- ① 訪問看護ステーション調達型システム：訪問看護ステーションが自機関の訪問看護の利用者に必要な衛生材料、医療材料等を製造業者・卸業者より調達
 ② 薬局調達型システム：薬局が衛生材料、医療材料等の調達を行なう
 ③ 販売業者調達型システム：医療機器材料取り扱い業者が衛生材料・医療材料等の調達を行なう
 注) N：調達機関数、ス：訪問看護ステーション、医：医療機関

表 10 調達機関型別にみた衛生材料・医療材料の発注状況と利用額

	①ステーション調 達型	②薬局調達型	③販売業者調達型
利用者実数	19	38	8
訪問看護延べ回数 (1月目/2月目)	150/162	307/226	106/78+ α
利用者1人あたりの平均訪問回数	16.4	14.0	23
衛生材料利用額 (円) *	444,454	190,842+ α	47,089+ α
医療材料利用額 (円) *	32,020	266,900+ α	142,692+ α
薬品利用額 (円) *	24,871	102,154	28,839+ α
材料費総額 (円) *	101,345	599,896+ α	218,620+ α
利用者1人あたり利用額 (円)	5,334	14,734	27,328
発注・受注票枚数合計	60	66	9
利用者1人当りの発注・受注票枚数合計*	3	2	1
発注回数：ステーション*	60	46	5
発注回数：医療機関*	-	20	4

ス：訪問看護ステーション、医：医療機関 * 2ヶ月間の合計

出典) 平成10年度老人保健事業推進費等補助金事業「在宅療養を推進するための訪問看護機器材料調達モデルの実施」事業・(財)日本訪問看護振興財団報告書。平成10年11月から平成11年1月のうち、2ヶ月間モデル事業に参加した24訪問看護ステーションの利用者1,733名のうち在宅成分栄養経管栄養法、在宅自己導尿、在宅寝たきり患者処置のいずれかを実施している利用者85名を対象。